

介護福祉士養成施設事業報告（情報開示）

1. 設置者に関する情報

法人種別・名称	学校法人 大乘淑徳学園
主たる事務所の所在	〒174-8645 東京都板橋区前野町5-5-2
主たる事務所の連絡先	TEL.03-5392-8888(代) FAX.03-5392-8890
代表者氏名	理事長 長谷川匡俊
財務諸表	http://www.hq.shukutoku.ac.jp/zaimu.htm

2. 介護福祉士学校に関する情報

学校の名称	淑徳大学短期大学部
住所	〒174-8631 東京都板橋区前野町6-36-4
連絡先	TEL.03-3966-7631(代) FAX.03-3558-7990
代表者氏名	学長 前原 英明
開設年月日	平成3年4月1日（介護福祉専攻）
学則	http://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.php

【介護福祉士学校の研修施設、図書室等の設備の概要】

研修施設及び使用教室について

研修施設	http://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.php			
教室等	教室等の名称	面積	教室等の名称	面積
	普通教室302教室	98.75 m ²	保健相談室	77.28 m ²
	講義室2-1教室	107.06 m ²	学生相談室	29.51 m ²
	講義室5-6教室	98.20m ²	研究室5	19.54 m ²
	講義室5-7教室	98.20m ²	研究室4	18.50 m ²
	演習室2-2教室	61.25m ²	研究室3	15.14 m ²
	演習室2-1教室	43.57m ²	研究室2	15.06 m ²
	介護実習室	173.25 m ²	研究室1	18.04 m ²
	介護実習室・和室	15.40 m ²	研究室14	14.35 m ²
	入浴実習室	98.75 m ²	事務分室	64.34 m ²
	調理実習室	229.98 m ²	教員室	24.20 m ²
	衣服実習室	163.23 m ²	図書室	1,642.18 m ²
	更衣室（介護・入浴）	22.05 m ²	学長室	40.56 m ²
	更衣室（家政）	30.57 m ²	事務室	291.77 m ²
	男子更衣室	22.31 m ²	教材準備室	18.45 m ²
第2情報実習室	105.17 m ²	体育室	222.22 m ²	

図書館について

図書館	http://jc.shukutoku.opac.jp/
-----	---

<図書冊数一覧（分野別）>

日本十進分類表	冊数
0 総記	13,891
1 哲学	10,268
2 歴史	5,337
3 社会科学	37,403
4 自然科学	20,236
5 技術	8,543
6 産業	1,789
7 芸術	4,083
8 言語	1,801
9 文学	18,178
計	121,529
視聴覚資料	2,090
合計	123,619

※H28.3.31現在

<図書冊数一覧（分野別）>

	区分	冊数
一般 教養 科目	人文科学	46,898
	社会科学	11,295
	自然科学	8,411
	外国語	654
	保健体育	408
	教職関係	2,440
	食物栄養学科	25,611
	計	95,717
専 攻 科 目	社会福祉学科・こども学科	25,812
	計	25,812
合計		121,529
視聴覚資料		2,090
総合計		123,619

※H28.3.31現在

3. 養成課程に関する情報

【養成課程のスケジュール（期間、日程、時間数）】

領域	教育内容	指定規則上の時間数	学則上の時間数	
			第1学年	第2学年
人間と社会	人間の尊厳と自立	30 以上	30	-
	人間関係とコミュニケーション	30 以上	30	-
	社会の理解	60 以上	30	30
	人間と社会に関する選択科目	120 以上	90	30
	小計	240	180	60
介護	介護の基本	180	90	90
	コミュニケーション技術	60	-	60
	生活支援技術	300	120	180
	介護過程	150	60	90
	介護総合演習	120	60	60
	介護実習	450	225	225
	(介護実習Ⅰの計)	-	(225)	(45)
(介護実習Ⅱの計)	150 以上	(-)	(180)	
小計	1,260	555	705	
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	60	60	-
	認知症の理解	60	-	60
	障害の理解	60	30	30
	こころとからだのしくみ	120	120	-
	小計	300	210	90
医療的ケア	医療的ケア（基本研修）	50	63	0
	（演習）	-	-	-
	（実地研修）	-	-	-
合計	1,850	1,008	885	

※カリキュラムや履修方法（履修時期等）については、本学ホームページ「情報公開について」をご参照ください。

【定員・入学までの流れ・費用・シラバス・教員数等】

定員（介護福祉専攻）	入学定員：40名、収容定員80名
入学までの流れ	http://daigaku.shingakunavi.jp/p/school/top/top.aspx?scl_no=7567700
費用	http://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.php#gakuhi
科目ごとのシラバス	https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp
教員数等	http://www.jc.shukutoku.ac.jp/college/public.php

【使用する教材】（教育用機器：器具及び模型）

教材	数量	教材	数量
実習用モデル人形	2体	盲人安全つえ	14本
人体骨格模型	1体	視聴覚機器	1式
成人用ベッド	13台	障害者用食器	1式
移動用リフト	1台	和式布団一式	2式
スライディングボード	6台	吸引装置一式	5式
スライディングマット	11台	経管栄養用具一式	5式
車いす	24台	処置台又はワゴン	13台
簡易浴槽	2台	吸引訓練モデル	5体
ストレッチャー	5台	経管栄養訓練モデル	5体
排せつ用具	1式	心肺蘇生訓練用器材一式	5式
歩行補助つえ	24本	人体解剖模型	1体

※上記以外については、シラバスを参照してください。

【介護実習施設等の名称、住所及び事業内容】

介護実習施設等の名称	住 所	事業内容
社会福祉法人康和会「久我山園」	東京都世田谷区北烏山 2-14-14	特別養護老人ホーム
社会福祉法人至誠学会東京「サンメール尚和」	東京都西東京市新町 1-11-25	介護老人福祉施設
社会福祉法人黎明会「やすらぎの園」	東京都小平市小川町 1-485	特別養護老人ホーム
社会福祉法人まりも会「くるめ園」	東京都小平市上水南町 4-7-45	救護施設
社会福祉法人東京蒼生会「特別養護老人ホームさの」	東京都足立区佐野 2-30-12	特別養護老人ホーム
社会福祉法人友愛十字会「砧ホーム」	東京都世田谷区砧 3-9-11	特別養護老人ホーム
社会福祉法人白十字会「東京ばんなん白光園」	東京都東村山市諏訪町 2-26-1	介護老人保健施設
社会福祉法人三徳会「品川区立戸越台特別養護老人ホーム」	東京都品川区戸越 1-15-23	特別養護老人ホーム
社会福祉法人不二健育会「ケアポート板橋」	東京都板橋区舟渡 3-4-8	特別養護老人ホーム
社会福祉法人武蔵野療園「中野区かみさぎ特別養護老人ホーム」	東京都中野区上鷲宮 3-17-4	特別養護老人ホーム
社会福祉法人池上長寿園「大田区立特別養護老人ホームたまがわ」	東京都大田区下丸子 4-23-1	特別養護老人ホーム
社会福祉法人みその福祉会「ケアタウン成増」	東京都板橋区成増 4-14-18	特別養護老人ホーム
社会福祉法人北野会「マイライフ徳丸」	東京都板橋区徳丸 3-32-28	特別養護老人ホーム
社会福祉法人長岡福祉協会「新橋さくらの園」	東京都港区新橋 6-19-2	特別養護老人ホーム
社会福祉法人寧幸会「蕨サンクチュアリ」	埼玉県蕨市北町 5-12-5	特別養護老人ホーム
社会福祉法人武蔵野療園「田柄特別養護老人ホーム」	東京都練馬区田柄 4-12-10	特別養護老人ホーム
社会福祉法人至誠学会東京「みどりの苑」	東京都板橋区前野町 5-9-3	特別養護老人ホーム
世田谷区社会福祉事業団「上北沢ホーム」	東京都世田谷区上北沢 1-28-17	特別養護老人ホーム
株式会社大起エンゼルヘルプ「(株)大起エンゼルヘルプ荒川ケアセンター」	東京都荒川区町屋 5-10-9	居宅介護支援事業所
株式会社セコム医療システム	東京都港区高輪 3-25-27 アベニュー高輪 1307	居宅介護支援事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ板橋ケアセンター」	東京都板橋区中台 1-37-4	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ葛飾ケアセンター」	東京都葛飾区高砂 4-2-18-101	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ三郷ケアセンター」	埼玉県三郷市鷹野 2-389-102	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ川口ケアセンター」	埼玉県川口市芝富士 1-9-25	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ杉並ケアセンター」	東京都杉並区方南 2-6-28	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ北ケアセンター」	東京都北区西ヶ原 1-30-1-103	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ練馬ケアセンター」	東京都練馬区貫井 2-24-2	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ足立ケアセンター」	東京都足立区東和 2-26-15	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ荒川ケアセンター」	東京都荒川区町屋 5-10-5	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ台東ケアセンター」	東京都台東区浅草 7-5-4	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ新宿ケアセンター」	東京都新宿区大久保 2-32-8	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ豊島ケアセンター」	東京都豊島区池袋 4-11-4	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「大起エンゼルヘルプ中野ケアセンター」	東京都中野区野方 1-37-4	居宅サービス事業所
社会福祉法人北野会「マイライフ徳丸」	東京都板橋区徳丸 3-32-28	居宅サービス事業所
社会福祉法人淑徳福祉会「淑徳共生苑」	千葉県千葉市中央区生実町 2407-1	特別養護老人ホーム
株式会社大起エンゼルヘルプ「グループホームなごみ荒川」	東京都荒川区荒川 8-8-3	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「グループホームなごみ三河島」	東京都荒川区荒川 5-25-3	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「グループホームなごみ西落合」	東京都新宿区西落合 4-8-19	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「グループホームなごみ方南」	東京都杉並区方南 2-6-28	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「グループホームなごみ浅草」	東京都台東区浅草 7-5-4	居宅サービス事業所
株式会社大起エンゼルヘルプ「杉並区グループホームなごみ高井戸」	東京都杉並区高井戸西 2-5-1	居宅サービス事業所
社会福祉法人江戸川豊生会「特別養護老人ホームみどりの郷福楽園」	東京都江戸川区臨海町 1-4-4	特別養護老人ホーム
社会福祉法人南山会「特別養護老人ホーム 喜多見ホーム」	東京都世田谷区喜多見 7-20-26	特別養護老人ホーム
社会福祉法人北養会「特別養護老人ホーム さくら館」	東京都荒川区町屋 7-10-6	特別養護老人ホーム
社会福祉法人和光福祉会「特別養護老人ホーム 和光苑」	埼玉県和光市新倉 8-23-1	特別養護老人ホーム
社会福祉法人和光福祉会「ナーシングホーム和光」	埼玉県和光市新倉 8-23-1	老人保健施設

【介護実習の内容及び特徴】

■介護福祉実習の目的・目標（全体目標）

- (1) 学内での講義、演習で学んだ基本的知識に基づいて利用者との人間的な関わりを深め、利用者が求めている介護の需要（ニーズ）に関する理解力、判断力を養う。
- (2) 日常生活援助に関する介護技術能力を深めると同時に、介護を補佐する各種の住設備機器や福祉用具の知識と活用能力を養う。
- (3) 実習指導者の指導を受けながら介護計画の立案・実践・評価方法、記録の仕方について学び、チームの一員として介護を遂行する能力を養う。
- (4) 施設の運営や在宅介護との連携並びに通所サービスにも参加し、介護福祉サービス提供全般における介護の視点と役割の理解を深める。
- (5) 在宅介護では家庭を訪問して介護を行う訪問介護について理解を深める。

■実習場所

福祉施設	<ol style="list-style-type: none">(1) 特別養護老人ホーム（老人福祉法・介護保険法）(2) 老人保健施設（老人保健法・介護保険法）(3) 身体障害者療護施設（身体障害者福祉法・自立支援法）(4) 知的障害者更正施設（知的障害者福祉法）(5) 肢体不自由児施設及び重症心身障害児（者）施設（児童福祉法）(6) 救護施設（生活保護法）(7) 心身に著しい障害のある原子爆弾被爆者の養護施設(8) 労災特別養護施設（労働者災害補償保険法による）(9) 地域福祉センター等
在宅福祉サービス	<ol style="list-style-type: none">(1) 居宅介護支援事業所（訪問介護サービス）(2) 居宅介護支援事業所（通所介護サービス）(3) 認知症高齢者生活介護施設（グループホーム）(4) ケアハウス(5) 小規模多機能施設

■実習内容

介護実習Ⅰ（第1段階）

1. 実習目的

コミュニケーション関係が比較的可能な利用者（障害者・高齢者）と人間的なふれあいを通して、利用者の需要（ニーズ）と介護の機能並びに施設職員の役割を学ぶ。

2. 実習目標

- (1) 利用者の生活環境や一日の生活を知る。
- (2) 利用者とのコミュニケーションを深め、利用者のニーズを把握する。
- (3) 利用者の日常生活支援の見学および実施をする。
- (4) 施設職員の一般的役割を知ると共に職員と利用者との関わり方について学ぶ。

3. 実習プログラム

(前半) ①多様な介護現場を理解する。

②コミュニケーション技術を通じ、利用者を理解する。

③利用者の生活全般を理解する。

④日常生活援助を見学し、介護業務の実際を理解する。

(後半) ①利用者の個別性に気づき、利用者のニーズ（思い）を知る。

②日常生活の基本的介護を実施する。

③介護職員の業務内容を理解する。

介護実習Ⅱ（第2段階）

1. 実習目的

重度生活障害を有する障害者、高齢者の障害レベルに応じて、介護援助技術の適正な使い方について学ぶ。また、医療・看護と連携を取り、各職種の専門性を理解する。

2. 実習目標

- (1) 利用者の生活障害が何かを理解し、障害の状況に応じた介護について学ぶ。
- (2) 非言語的コミュニケーションを活用する。
- (3) 利用者を援助する際の全体像の理解、そして利用者のニーズに対応した援助の方向性に気づく。
- (4) ケースカンファレンスを通じて利用者の介護ニーズに対する情報収集の仕方や捉え方を学ぶ。
- (5) 医療・看護との関連で独自判断で行ってはならない業務とチームワークの必要性について学ぶ。

3. 実習プログラム

(前半) ①コミュニケーション技術を通じ、利用者との関わりを深めていく。

②利用者の特性を把握し、個々の介護援助方法を理解しながら実践する。

③他職種の役割と他職種との連携について理解する。

④受け持つ利用者を一人決める。

(後半) ①利用者の24時間の生活の様子を理解する。

②受持ち利用者の情報を収集し、全体像を把握する。

③利用者との気になる関わり場面をプロセスレコードに起こす。

④ケースカンファレンスに参加する。

介護実習Ⅲ（第3段階）

1. 実習目的

施設運営のプログラムに参加し、サービス全般について理解し、チームの一員としての介護福祉士の役割を知る。また、個別の介護過程の展開、記録の方法について学ぶ。

2. 実習目標

- (1) 施設の行事や会議に参加し、その施設の運営管理、サービス全般を学ぶ。
- (2) ケースカンファレンスを通じて個々の援助方針や計画の策定、援助全般の評価について学ぶ。
- (3) 特定の利用者を選び、介護職員から指導を受けながら利用者のニーズを明確にし、個別介護計画の作成、実践、評価を行い、記録する。
- (4) 変則勤務を体験することにより利用者の24時間の生活状況と介護のあり方を学ぶ。
- (5) 介護を通じて職業倫理、組織の一員としての関わり方を学ぶ。
- (6) 保健・福祉・医療の連携をもとに、ネットワークの必要性を学ぶ。
- (7) 利用者の自立支援と介護福祉士の専門性を深く理解する。

3. 実習プログラム

- (前半) ①利用者・家族との関わりを通して、信頼関係を築き、利用者の個別性を理解する。
②日常生活援助を実践し、利用者の生活全般を理解する。
③他職種の役割と他職種との連携について理解する。
④受け持つ利用者を決め、介護過程に取り組む。
⑤ケースカンファレンスに参加する。
- (後半) ①利用者の24時間の生活の様子を理解する。
②受持ち利用者の介護過程の実践、評価を行う。
③利用者との気になる関わり場面をプロセスレコードに起こす。
④グループ活動に参加し、クラブ活動、行事のプログラムの進め方を理解する。

介護実習Ⅳ（第4段階）

1. 実習目的

施設実習とは異なる在宅介護の特性を学び、在宅介護についての理解を深める。
利用者の在宅生活を支える制度・サービスについての理解を深める。

2. 実習目標

- (1) 利用者の自宅での生活を支えるために必要な介護サービスおよび援助内容や方法について学ぶ。
- (2) 利用者の状況および生活形態、自立支援、家族への援助、地域における保健医療福祉との連携など在宅介護の特性について学ぶ。
- (3) 在宅における個々の利用者の日常生活援助に関する介護技術の特性および工夫について学ぶ。
- (4) 在宅における住環境や福祉用具の活用について学ぶ。
- (5) 利用者個々の住宅（居宅）サービス利用の目的およびその内容について学ぶ。
- (6) 介護保険制度をはじめとする各種制度の中における介護福祉士および訪問介護員の位置づけ、役割を学ぶ。

3. 実習プログラム

- (1) 在宅介護における介護者の役割や介護機能、利用者の心身および生活状況、介護サービスの利用目的、援助内容およびその方法などの介護の実際について実習指導者から指導を受ける。
- (2) 実習担当者の指導を受けながら介護の見学および実践を行う。
- (3) ケースカンファレンスやサービス調整会議へ参加する。
①訪問介護実習（2日間）・②デイサービスセンター実習（3日間）・③グループホーム実習（2日間）

4. 実績に関する情報

卒業生の延べ人数	1,415名（平成28年度まで1,402名+平成29年度13名）
卒業生の進路の状況	http://www.jc.shukutoku.ac.jp/course/care_work.php

5. その他の情報

その他入学者又は入学希望者の選択に関する情報	http://www.jc.shukutoku.ac.jp/sitemap.php
------------------------	---